

次世代リーダーシップ委員会



Lions Clubs International



地区次世代リーダーシップ委員会

対象者は55歳以下の全てのメンバー！



グローバル・メンバーシップ・アプローチ GMA

グローバル・メンバーシップ・アプローチ

「グローバル・メンバーシップ・アプローチ」は、
以下のことを行うことによって会員増強を図るため、各地区のチームが活用できる戦略的手法と情報資料一式を組み合わせたものである。

- 新クラブ結成により地区の若返りを図る
地区次世代リーダーシップ委員会のアプローチ
- 新会員を加えてクラブの活性化を図る

エクステンション・レオクラブ・スペシャリティクラブ結成

- 仲間との親睦とエキサイティングな奉仕で、既存会員たちの意欲を再燃させる。

新入会員の勧誘・ネットワーク構築・対外PR活動

クラブ内での若手とベテランメンバーの交流の促進

会員の体験を 充実したものにする

着手するには

「若手」会員をクラブに引きつける方法について考える際に、まずは次のことを自問してみましょう。

「若手」をどう定義するか？

あなたのクラブの平均年齢が60歳なら、50歳前後の会員をもっと勧誘するよう取り組んではいかがでしょうか。クラブ会員の平均年齢より少しだけ若い会員を増やすことから始めるのは、広い世代で構成される強固なクラブ構築に取り組むための優れた方法です。40歳程度や、それより若い会員を迎えることに関心があるなら、若手ライオンズにとってあなたのクラブが持つ魅力を考えてください。

クラブは若手ライオンズにとって魅力があるか？

40歳程度やそれ以下の若手ライオンズ候補者にアピールできるクラブになるには、まずそうした人たちが関心を抱く奉仕について理解することと、多忙なスケジュールやコミュニケーション方法の好みについて認識することです。変わることは容易でないこともありますが、変化しないなら成長しないということを覚えておきましょう。

- クラブが地域社会に不可欠な奉仕を提供する一方、新たな若手会員は、地域とグローバルの両方における他の奉仕ニーズを特定するために役立つ視点をもたらしてくれます。
- ライオンのライフステージが、特別な関心事や交流行事に割ける時間を決めることもよくあります。特に大学に通っている人や、子供を抱えた親など、あなたよりずっと時間が限られている可能性のある人々のスケジュールには特に気を遣ってあげましょう。
- 若手会員がクラブ支部を結成することも歓迎しましょう。それにより、若手ライオンズはクラブへの所属感を抱きながらも独自で集まり、彼らが熱意を持つ奉仕に集中できるという素晴らしい機会を得ることになります。クラブ支部についての詳細はlionsclubs.org/ja/club-branchをお読みください。
- コミュニケーション手段や人脈作りの方法の好みは、それぞれの世代の環境とライフステージに応じて特有のものです。たとえば、若手ライオンズは携帯メールによりデジタルな手段で会話することを好み、ソーシャルメディアを活用します。新たに若い会員層を呼び込もうとするなら、彼らのこうした好みを心に留めておくことがあなたや会員にとって有益です。

クラブは若手ライオンズにリーダーとなる道筋を用意しているか？

若手会員の勧誘を計画する前に、若手のリーダーとしての可能性を支援し、それを伸ばす備えをクラブが整えるようにしてください。

- 新しいアイデアに耳を傾け、若手ライオンズが奉仕イベントや例会を独自の方法で仕切ることを認めましょう。積極的に意見を言える機会を与えれば与えるほど、クラブに留まろうという意欲も高まります。



奉仕を通じて若手ライオンズを勧誘する

ライオンズクラブ国際協会のモットーは「われわれは奉仕する」であり、実際に活動するライオンズの姿を見せることほど会員を引きつける有効な手段はありません。次回の奉仕イベントを、若手ライオンズ候補者にとって魅力的なものになるように企画するため、以下に挙げるヒントをご活用ください。

イベントを企画する

- 例会ではなく、奉仕イベントで勧誘を始めましょう。
- 地域の若者にとって何が重要であるかを調べます。
 - ▶ 「クラブおよび地域社会奉仕ニーズ調査」を実施し、若者にとって大切な問題を把握しましょう。この調査はlionsclubs.org/ja/service-toolkitからダウンロードできます。
 - ▶ 地域の若者たちと直接話しましょう。これにより、若者たちに、彼らと同じくらい、皆さんも地域のことを大事に思っていることを示すことができます。
- 地域の若者にとって重要なニーズに対処する、実地参加型の家族向けイベントを企画します。lionsclubs.org/ja/family-membershipにアクセスし、家族会員プログラムを活用して次の家族向け奉仕イベントを企画するためのアイデアを見つけましょう。
- 地元の大学生、近所のグループ、保護者グループ、地元の職業人、職場の若い同僚など、さまざまな人々を招きましょう。
 - ▶ ソーシャルメディアを使って若者を引き寄せましょう。若者のやりかたに合わせてください！
- すべてのイベントを楽しく、活気に満ちた、勢いあるものにしてください。若者たちは活発な奉仕事業が好みです！
- 具体的な結果を出して、良い影響を与えるために貢献したことをみんなが実感できるようにしましょう。

イベント中

- 時間通りに開始し、はじめに短いオリエンテーションを行います。
- 参加者全員に十分な道具や資料が行き渡るようにします。
- 奉仕では力仕事や清掃だけでなく、様々な形で若者たちに参加してもらおうようにしてください。
- 招いた人々全員の写真を撮りましょう。
- みんなに感謝し、「1日ライオン」の体験をいかに楽しんだか尋ねましょう。

イベント後

- 撮影した写真をソーシャルメディアでシェアします。
 - ▶ Facebookは優れたメディアですが、InstagramやSnapchatなど若手ライオンズが使っている他のソーシャルメディアのプラットフォームにも慣れておきましょう。イベントの参加者は投稿をシェアしたり、友達やライオンズの世界的なネットワークから「いいね」をもらうことを楽しみにしています。
- フォローアップを行い、若手ライオンズ候補者を別の奉仕イベントに招くことをお忘れなく。友達や家族も連れてくるよう声がけしてください。クラブが（単に会うだけでなく）奉仕する能力、これが多くの人々を引きつけます。

例会の体験を 充実させる

人々がライオンズクラブに参加するのは、奉仕への熱意があるからです。ですから、例会においてもクラブの焦点を奉仕に置くことが重要です。次に挙げるヒントは、若手ライオンズがクラブに熱意を持って関わり続けつつ、クラブの主な目的である奉仕から目を離さないよう、例会を効果的に運営していく上で役立ちます。

例会のヒント

- 例会は定刻通りに開始・終了します。幼い子供や学齢期の子供を抱えた多忙な親を気遣いましょう。
 - ▶ たとえば1時間で予定していた例会が伸びてしまう場合には、そのことを伝えた上で、例会を離れる必要がある会員にはそれを認めてください。
- 例会は短く効率的に。
 - ▶ 役員や委員は、クラブ例会の前か後に、例会とは別に会合することができます。成果を上げているクラブは、例会を1時間以内に抑えています。
- 新しいアイデアを募るための時間を、各例会の始めに取りましょう。
- 奉仕を毎回の例会に組み込みましょう。
 - ▶ 奉仕の成果を祝いましょう。写真を見せ、礼状を紹介してください。例会中に終わらせられるような、簡単な奉仕の作業を企画しましょう。
- 可能であればオンライン例会を検討するか、オンライン・プラットフォームを使うことで会員が例会にライブ参加できるようにしましょう。

- フォーマルな食事は出さないでください。軽食はいいのですが、フォーマルな食事などの懇親会は、例会と分けて企画してください。
- クラブ会員の子供たちを退屈させないよう計画を立てましょう。
 - ▶ 宿題を手伝ったり、塗り絵や工作を指導したり、あるいは地域の子供のニーズに応えるための奉仕イベントを学齢期の子供が企画するのを指導したりする担当者を決めておいてください。lionsclubs.org/ja/family-membershipにアクセスし、家族カブ・プログラムを活用してクラブの子供たちを導き、相談に乗るために役立つ方法を探求しましょう。
- 開催予定のイベントについて期待を盛り上げ、各会員の貢献を称えましょう。

若手ライオンズを関与させる

- 若手ライオンズに例会の進行を手伝わせたり、運営を委ねたりしましょう。
- クラブの若手ライオンズが持つソーシャルメディアのスキルを活用して奉仕イベントを宣伝し、若手ライオンズ会員候補に働きかけましょう。彼らの人脈やソーシャルメディアの知識は、クラブにとって大いに役立ちます！
- 若手ライオンズが重きを置く奉仕の取り組みについて、彼らに尋ねましょう。
- 若手ライオンズに、彼らが熱意を持つ奉仕事業の企画を任せましょう。

Under 55



次世代のリーダーとして
共に奉仕の道を歩きましょう